

第20回 市民公開講座

2025年

問題って

ご存知ですか？

～みんなで考えてみよう、超高齢社会の長崎を～

参加費
無料

2015年
2/21 | 土 |
14:00 ~ 16:00 (13:30開場)

場所

長崎新聞社
長崎新聞文化ホール
アストピア

長崎市茂里町3-1 TEL 095-844-2412

主催 NPO法人 地域の包括的な医療に関する研究会
運営事務局 東京都中野区2-2-3 (株)へるす出版事業部内
TEL03-3384-8058 fax 03-3380-8627
協賛 株式会社へるす出版・株式会社へるす出版事業部
後援 社会医療法人春回会

プログラム

進行:テレビ長崎 報道局報道部 樋田 禎子氏

- 開会の辞
NPO法人 地域の包括的な医療に関する研究会
理事長 有賀 徹

- 市民公開講座開催にあたり
NPO法人 地域の包括的な医療に関する研究会
理事 井上 健一郎

- 基調講演①
2025年の長崎で健やかに暮らすために

長崎大学 松坂 誠應先生

- 基調講演②
**あなたの町でも起こっている?
すでに身近に迫る脅威**

江平山里地域包括支援センター 榊 寿恵氏
助っ人隊(鶴の尾町自治会長) 山口 明氏

- パネルディスカッション

- 閉会の辞
NPO法人 地域の包括的な医療に関する研究会
副理事長 栗原 正紀

NPO法人 地域の包括的な医療に関する研究会

当NPO法人は、医療人と一般市民との間に共通の理解を醸成するために研修会等の活動を通じて医療者と患者との協働・連携を、より密接なものとする事で地域医療を確立し、誰もが安心して医療を受けられる社会の実現に寄与することを目的として、各地域において市民公開講座を開催しています。

本講座の目的

昨今、全国的な高齢化が社会問題として取り上げられています。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題はさらに事態を深刻化している状況です。背景には、高齢化だけでなく、働く人口の減少も大きく関与しており、これまでに諸外国でも前例のないような時代が、私たちが住む日本に差し迫っています。これまで国を支えてきた団塊の世代が給付を受ける側に回るため、医療・介護・福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れる、とも指摘されています。国は、年金・医療・介護にかかる社会保障費の確保、医療・介護の連携体制強化など、様々な対応策を講じておりますが、必ずしも解決策に結びつくものではありません。一人ひとりの市民が、当事者となる高齢者や障がい者だけではなく、知っておかないといけないこと、想像しなくてはいけないこと、考えるべきこと、準備しなくてはいけないこと、行動することが次第に増えてくる可能性があると考えられます。

長崎県はというと、他地域と比較しても高齢化は進ん

でおり、坂の町といわれる特異的な環境が、住民一人ひとりの生活に大きく影響を及ぼしています。また、単身世帯や高齢夫婦世帯が多いことも拍車をかけている現状です。以前は、「向こう三軒両隣」というほど近所づきあいが多かった地域でも、高齢化が引き金となり、住民同士での助け合いも少ない状況です。また、働く若者も地元から離れ、地域の担い手が減っている町も増えているようです。

本講座は、障がいを持つ人々や高齢者が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全にいきいきとした生活が送れるよう、医療や保健・福祉および生活にかかわるあらゆる人々の知識や体験を情報交換し、到来する超高齢化社会と向き合うことを目的としています。何歳になっても、障がいを持ったとしても、自分の住む町での当たり前な生活を、保障していくことが必要と考えています。本講座を通し、参加者一人ひとりが将来を見据え、できることを皆で考え、町をつくっていくことにつながる機会となることを願っております。

地域の包括的な医療に関する研究会 第20回市民公開講座 事務局

〒850-0045 長崎県長崎市宝町6-12 井上病院

TEL:095-845-1014 FAX:095-845-3600 担当:川端、中ノ瀬

E-mail:nakanose@shunkaikai.jp

地域の包括的な医療に関する研究会

第20回市民公開講座 参加申し込み書

締切

人数把握の為、
2月14日(土)までにお申込ください。
(当日参加可能)

お名前
(代表者名)

参加人数

他

名

※差し支えなければご記入ください

勤務先
所属先

ご連絡先
TEL

()

お申し込みは電話またはFAX・E-mailをお願いします。当日ご参加の方には健康関連の粗品を差し上げます。

この申込で知り得た個人情報は目的(本講座に関する連絡等)以外では使用致しません。